

新入荷商品のご紹介



紫織庵ゆかた 大正友禪 綿紹白地 こむらさき

ターコイズブルーの地に白でこむらさきの生い茂る葉を表現。実を赤で控えめに表現し、地色のさわやかさを引き立てています。定番の京浴衣紫織庵のおすすめの逸品です。

32400円



竺仙ゆかた 紅梅小紋 和本柄

透け感のある竺仙の綿紅梅浴衣。太さの違う糸を使い織り上げているので、生地と体の間に空間が生まれ、サラリと涼しい。古典的な柄が本物嗜好の着物ファンに人気の柄です。

71280円



源氏物語ゆかた さわらび 柳にほたる

生成りの生地で柳にほたるが飛んだ暑い夏の夜を涼しげに彩ってくれる源氏物語のゆかた。柳の柄が着姿に流れを作り出し、まるで涼やかな風が通り抜けてゆくようです。

29160円



竺仙ゆかた 奥州小紋 ひまわり柄

大胆に大きなひまわりの柄の小紋浴衣。博多の紗献上の半幅帯などと、オーソドックスな組み合わせをすると、伝統的で美しい、誰もが想像する日本の夏の風物詩「浴衣姿」が完成します。

71280円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2019年7月号

ごあいさつ



暑い日が続きます。夏真っ盛りです。若いころは夏が近づくとワクワクしたのですが、最近では夏の暑さにすぐにバテテしまい、今から秋の訪れが待ち遠しいです。8月は夏休みを3日間頂きます。この3日間に何か楽しいことあるかな？

8月の連休 8月5日(月) 6日(火) 7日(水)

特集 有松絞りの魅力① ～歴史～



今年、「有松絞り」が日本遺産に認定されました。日本遺産とは、文化庁が認定した、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーである各地域の魅力溢れる有形・無形の文化財群を、地域が主体となって整備活用し、国内外へ発信することで地域活性化を図ることを目的とした、日本の文化遺産保護制度の一つです。

皆さんもご存知のように、「鳴海」は東海道五十三次の宿場町ですが、有松へ移り住んだ竹田庄九郎が、この街道を行き交う人へのお土産品として、三河木綿の生地に絞りをほどこした手拭いを売ることになったのがこの地域での絞染のはじまりといわれています。

そして、参勤交代やお伊勢参りなどのおかげで、国元へのお土産として全国的に広まっていきます。もともとは「有松」が、尾張藩庇護のもと営業権を独占し、他地域での生産を禁じたようですが、当時は宿場町の「鳴海」に泊まった客が多く買っていったため、有松絞りではなく鳴海絞りという名前が広がっていったようです。明治時代以降には有松の独占権が廃止され、鳴海など他地域にも生産が広がっていったようです。現在でも、「有松・鳴海絞り」や「有松・鳴海絞会館」など、鳴海の名前が当時の名残として残っていますね。次月号では絞りにはどのような技法があるか見ていきたいと思います。



江戸時代をほうふつさせる有松の町並み

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539